

場面転換アイキャッチのひみつ?



アニメ本編でのワンポイント的な特徴になっているのが、毎回数ヶ所、場面転換で入るアイキャッチ。ドット絵のLOADING画面風なのは、懐かしい8ビット機時代のゲームのオマージュです。出てくるキャラやシチュエーションも色々なのが、凝ってあります。

このアイキャッチは、脚本では挿入場所だけ指定されていて、どんな画にするかは絵コンテで決めています。実はその画に合わせたキャラの台詞は、元々入れる予定でなかったところを、1話で茅野愛衣さんが何か声があった方が良くかと思って「テクテク」と入れたことから、キャストがアドリブで言うのが定番化したのでした。茅野さんは、その時は毎画面が変わるとは

思わず、自分のその一言を、以後はコピー使って使ってもらえればと考えてのことだったそうです。

なのでAR台本には場面転換でのアドリブ指定は無かったらしく、5話から参加のLynnさんは「みんな普通にあそこまでアドリブで台詞を入れてるから、最初は「何が起ったの?」って戸惑っちゃって。「アドリブで言うとは聞いてないんですけど!」って(笑)。あそこは毎回違うので、短い尺の中でどんなことを言おうかと、みんなで相談は結構してました……如何に面白いことを言おうか? (笑)。そういう遊びは、他の作品ではなかなかないことだったので、やっていた面白かったですし楽しかったです!

キャラクター紹介 Part3

●スペシャル対談で登場して頂いたLynnさん演じるメディと中原麻衣演じるメディママって、どんなキャラクター?

メディ 職業：魔術師
 ジョコ・アカデミア学園で、真人達と同じクラスになった。清楚で可憐な美少女。真人に「真のヒロイン」と感じさせたほど、母親のメディママといつも一緒に、母親の言う通りに行動している。でも、本当はそんな状況にはウンザリしていて、腹黒く毒づきこともしばしば。

メディママ 職業：優秀な魔術師の母親
 名前の通りメディのお母さんで、高慢ちきな教育ママ。メディと同じく、杖を使って魔法を使える。娘をなにがなんでも一番にしたくて、学園の授業にも付き添って、かなりダーティなズルも平気でしていた。無邪気な真々子さんに、なぜか強い対抗意識を燃やしてしまう。

何でもお母様のいう通りにして、一番になれるよう一生懸命頑張ります。(あ〜、この毒母が! ホント、ムカツク!)

メディ：一番優秀になるために、私の言うことをきちんと聞かない! 私の言う通りにさえすれば、それで良いのです。

真々子さんの子女自慢♪ その3 (普段は清楚なメディちゃんと楽しい白瀬さん)

『お母好き』のキャラクターのポイントを、真々子さんが語っちゃうシリーズ。3回目は、メディと白瀬さんです。



メディちゃんは、とってもおしとやかで優秀な女の子よ。言葉遣いも丁寧だし礼儀正しくて、どことなく「お嬢様」っていう感じがするわ。マー君もメディちゃんのそんなところ、とっても惹かれたみたい。でも頑張っているのにメディママさんに強く叱られるような重たい、娘が一番になれば、育てた私は一番の母親を名乗れるって言葉にショックを受けてドラゴンになって大暴れした時は、すこしく心配したわ。メディちゃんも、今は私達と一緒に旅をしているの。ただ、時々急に怖い顔になって

ブツブツ何か言うんだけど……。うーん、メディちゃん、今もきつと色々あるのね。白瀬さんは、私とマー君をこのゲームの世界に招待してくれた、とっても良い人。マー君がいっぱいおしゃべりしてくれるようになったのも、言ってみれば白瀬さんのお陰よね。ゲームの世界でも何かあるとすぐに現れてくれるから、すこく安心。……マー君達はそうでも無さそうなんだけど、どうしてかしら? それと、「お知らせします」って自分の名前と引っ掛けで言うのも、とっても面白いわ。

Blu-ray・DVD

第1巻9/25

第2巻10/30発売!

9月25日(水)から、いよいよ『お母好き』のBlu-rayとDVDのリリースがスタートします。完全生産限定版には、巻巻、井中だちま先生書き下ろしの短編小説や、アニメ本編を余すところなく解説したブックレット、キャラソンや劇中BGMを収めたCDなどの特典がついちゃうんです。

そしてさらに、第1巻には2020年1月25日(土)開催の



イベント「お母さんとマー君たちといっしょ〜放送後イベントが全電通ホールで二回公演のお母さんは好きですか?〜」の一回目公演のチケット優先販売申込券、第2巻には二回目公演のチケット優先販売申込券もついています。ぜひ、予約してグットして下さいね!

全ての『お母好き』ファンのための情報誌

TAKE FREE

ままこくらぶ

Lynn × 中原麻衣
 スペシャル対談!

場面転換アイキャッチのひみつ?

キャラクター紹介 Part3

真々子さんの子女自慢♪

通常攻撃が

全体攻撃で

二回攻撃の

お母さんは好きですか?

TVアニメ絶賛放送中!

- TOKYO MX・BS11・とちぎテレビ・群馬テレビ：毎週金曜24:00〜
 - MBS：毎週土曜27:38〜 ● テレビ愛知：毎週火曜26:05〜 ● AT-X：毎週土曜23:00〜
- ※放送日時予告なく変更の可能性があります。

収録される映像はありのママの姿!?

Blu-ray&DVD +OVA発売決定!

第1巻9月25日(水)発売!



「大好真々子〜スライムダメージver.〜 1/7スケールフィギュア」

ANIPLEX+で好評受注中!
<https://www.aniplexplus.com/>

最新小説9巻
 9月20日発売



原作小説1-8巻 発売中



ヤングエースUPにて連載中!
 コミック1-2巻 発売中

著者：真珠 / 原案：井中だちま
 キャラクター原案：黒田洋介



エンディングテーマCD、
 スペシャルイベント
 優先販売申込券同梱!

880088008800

ままこくらぶ

創刊号2019.9vol.3
 発行所：お母さんは好きですか? 製作委員会
 編集担当：ほろり春草 (スタジオ春草) デザイン：KOBİ

NOT FOR SALE

©2019 井中だちま先生 / 監修：黒田洋介 / 原案：井中だちま / 脚本：黒田洋介 / 作画：黒田洋介



『お母好き』 親子面談 - 第3回 - Lynn × 中原麻衣

「お母好き」キャスト同士のスペシャル対談。第3回は5話〜8話で活躍した、メディとメディママを演じたお二人の、楽しいおしゃべり会どうぞ！

清楚な感じより毒声の方が演じやすい

—この作品の第一印象からお母様が好きですね！
Lynn オーディションを受けた時に、まずこの長いタイトルに驚きまして(笑)。全然内容が想像できなかったんですけど、いざ台本を読んでみたらなるほどそこに着目したのか！とお母さんがメインになるストーリーがすごく面白いなあって思いました。
中原 私も台本を頂いたときに、まずタイトルにインパクトに驚きました(笑)。メディママは、教育ママというか視野がすごく狭まっているところがあるのでどう演じようかと悩んでました。

—あんなに毒声は異世界ものなんですが、5話から8話は本当に学園ドラマに寄りました(笑)。
Lynn そうなんですよね。でもゲームの中の世界観らしく、モブキャラはまだ顔が出来てないとか、先生もすごく濃い人だったりして(笑)。なので、普通の学園ものではなくて。なんだかとにかく賑やかなんですよ。
中原 先生と生徒がいる中にお母さんも普通に教室にいる時点でかなり違いますよね。そこは異世界だからOK(笑)。学園中のみんなが、真々子さんを大好きで、何をやっても「彼女がやるからステキ!」みたいな。現実世界とは違ったそういうところもこの作品の魅力ですよね。

Lynn そこに落ち着くんですね!(笑)
—メディは、普段の清楚な感じと、ふと出てくる黒い毒キャラとのギャップが強烈です。
Lynn 多分、メディの基本は黒い方で、その上で可愛い部分もある感じだと思います。実は、オーディションでこの役が決まった時に「なんで私なんだろう?」って、すごく疑問だったんですね。清楚な正統派の女の子って、私自身がしっくり来てないところがあったので(笑)。というのもオーディションでは、可愛らしい高い声の方での台詞しか無かったです。

中原 そうだったんだ!
Lynn そうなんですよ! そうしたら本編の台本には、「メディ(毒声)」って書いてあって……そこが腹黒になるシーンなんです。それで「あ、だから私か!」って、すごく納得しちゃったんです(笑)。
中原 あははは(笑)。

Lynn でも同じ女の子なのかな?って思えるくらい、そこはワックスと切り替えて演じてます。見た目とのギャップもすごくありますし、原作知らない人でもアニメから入った方は、その差に本当にビックリされたかと思うんです。それこそ真実人(メディ)のよう(笑)。
—その「毒声」に切り替わる時は、別録りでなく普通に流れる中で録っていったんですか?
Lynn はい流れて録ってました。私も根はあまり明るい方ではないので、毒声の方が演じやすいです(笑)。なので、そこは自然と出来ました。それに毒声の台詞は、彼女の本性が出てくる部分なので、気持ちも込みやすかったです。あそこまでお母さんに言われて来たから、ソリや色々なものが層層と溜まっていくだろうなって、色々な心の声が漏れてしまうのは共感が出来た……というところもあって、気持ちとしては分かるなあと考えたんです。
—メディママは、かなり高慢ちきな女性でした。
中原 台詞回しも表情も、方向性が分かりやすく「高慢ちきさ」だったので、そういう意味では演じやすかったです。それに、なんだかストレス発散にもなりましたし……なんて(笑)、収録がとても楽しかったです。
—教育ママな面はどうですか?
中原 メディママは言ってること自体は、間違っているわけではないです。ただ度が過ぎているだけで、彼女のやりたいことや考えていることは、「メディのため」、本当は娘が大好きなお母さんなんです。だから、言い方が扱し方をもっと考えれば、きっと良いママなんだらうなと思えたりはしていました。

Lynn 本当にメディがちょっといい頃からお母さんと二人三脚じゃないですけど、お互い信頼し合って、いるんなことを頑張ってきてたんですね。メディもお母さんのことが大好きだったはずで、それがどこかでちょっとねじ曲がっちゃったんです。
中原 そう。そこをちょっと間違っちゃったんですね。ただ、メディママの教育ママ的なところについては、ちょっと分かる部分はあるんです。私、フツちゃんを飼ってんですけど、飼いはじめた時にしつけをちゃんとしないかなんかとおもって、育児ノイローゼみたいになってたことがあったんです。「こんなに色々してあげているのに、なんで応えてくれないんだろう?」って、すごくモヤモヤしちゃって。それで厳しくしてしまいがちだったんです。自分以外の存在を育ててくることに難しいのかって、それを知っていたので、娘に厳しくしちゃったメディママの気持ちも分かる気がします。
Lynn メディが表面的にはずっと素直だったのも、本当はお母さんが自分のことを思っていて言ってくれたらってことは、理解していただけたらいいですね。その気持ちに応えて、彼女なりに頑張っていたんだと思います。
中原 宝石の影響で「娘のため」じゃなくて「自分のため」になりすぎてしまったので、それさえ間違えなければ、すごく仲が良くて良い関係の親子で、きっと休日には一緒に買い物とか行くんだろうなって。
Lynn してそうですね!

全部真々子さんに持っていかれる対抗シーン
—メディママは、真々子さんにやたらと対抗してました(笑)。
中原 してましたね〜!セーラー服とか水着とか(笑)。
—しかもすごい下着でくるのに、自爆して終わるみたいな(笑)。
中原 そここが、めちゃくちゃ可愛いんですよ!
Lynn 本当に可愛い!
中原 普段はトゲトゲしいところしかないけれど、真々子さんと対抗する時は子供みたいなにはしゃいでて、そこが可愛いですが、メディママ唯一のシブシブと私は捉えていました。中でも一番印象深いのは、やっぱり水着ですね。こんなにこんなに自分で自分を捨てて、セクシーな水着を着てきたのに!スクワラの真々子さんに瞬殺されるという。気の毒な……(笑)。
Lynn まったく、生徒達はメディママの大人の魅力を感じられない人ばかりで(笑)。
中原 そうなんだよね〜。みんな子供だったんだよ(笑)。でもメディママの水着もすごいんですね。彼女なら、普通はこんな時は絶対に着るさうじゃない。それだけ頑張ったのにも、うん、頑張ったんですよ!
Lynn でも「何やってんだ?」って思うシーンでしたよね(一同・笑)。ただ、どの対抗シーンも結局は真々子さんが全部持ってっちゃうので……ママも頑張ったのっていう思いが(笑)。
中原 優しい!

初経験、ドラゴンの声のアフレコ

—7話で、メディが真実人と友達になりたいと思うもののお母さんから厳しく言われていて出来ないかと葛藤するのが一つの見せ場でした。



私もメディと同じで根は明るい方ではないので、毒声の方が演じやすいです(笑)



Lynn すごく普段はにごやかでおしとやかで、人当たりの良い感じなのに、友達と呼べる人が実はいなくて。それで友達が欲しくていって、ふんふんを抱えてたんですね。それを初めて口に出すというシーンだったので、すごく大事に演じたいな思ってたんです。周りの真人やワイズ達も、「友達だよ!」っていう感じで受け入れてくれて、とても良いシーンでした。とはいえ、9話以降は……(笑)。こんなに感動的に「仲間になりなさい!」って言ったのについて、あの感動はなんだだったんです。私は思っちゃんですけど(笑)。
中原 そうだったんだね!(笑)。
—メディママの「娘が一番いなければ、育てた私は一番の母親を名乗れるは、言っはいけない一言でした」
Lynn 宝石の力で心が歪められていたことあるでしょうし、彼女自身、あの時は感情的なものでした。それで、きつと言った後に「あ!」って後悔したはずですよ。私としては、母親として絶対言っちゃダメな言葉なのに!と思うって、思いっきり言った。うふふふ
—メディは、メディママの本音を聞いて悲嘆に暮れてドラゴン化して暴れ回ってしまいました。
Lynn ずっと「きつとママは私のために、厳しくしているんだ!」って信じてきた分、裏切られたという、今までのは何だったの?という気持ちもすごくあったんだと思うんです。
中原 あのドラゴンは、髪の毛はメディのままなんだよね。でもアフロ。大変そうだったよ。
Lynn いやあ本当に!盛り声とか全部やりました!ドラゴンを演じるのは初めてだったんですけど、やってみたらすごく楽しかったです!やっぱり女性がドラゴンを演じるって、なかなか無いと思いますから、すごく貴重な経験でした。
Lynn 確かに! (笑) ああいうLynnちゃんの声、初めて聴いた。きつとスタッフさんとしては、「ぜひ、Lynnちゃんにやってもらいたい!」っていうのがあったんでしょうね。だからメディママ頑張っていても、Lynnちゃんを見て、私は私こそメディママのように「頑張れ!頑張れ!」という気持ちです。
Lynn 「販賣さないうにねって(笑)。
中原 そうそう!(笑)結構長い間、「ゴォォ」って唸り続けてたから。
Lynn 8話のメディは、ほぼドラゴンでしたから(笑)。
—宝石の力から脱したメディママは、母親らしい優しい顔立ちになりました。
Lynn 基本的に、誰も子供を授かった時に「大事にしよう。この子のために生きよう」と思うはずなんですけど、ただ親も人間なので、誰もが思うはずでもメディママみたいになってしまうって思うんです。正気に戻ったメディママは、宝石の力から抜け出した感じじゃなくて、成長したメディを見て「私、ちゃんと親をやれたんだな」と、少し肩の荷が下りた感じもしたんだと思うんです。まだメディは学生ですけど、それでも「良かった」って安心して力が抜けて、正気に戻ったバージョンが、8話の後半の姿だと私は思っています。
Lynn 優しい母として寄り添ってくれているのが見て、メディも初めて「もうちょっと私の気持ちも考えて下さいって、お願いすることが出来るのかな。多分今までは、自分がこうしたいと言えずに来たことが、言えるようになったので、本当の良い親子になった瞬間だったって思います。

このアニメを観て、親子での会話をしたい
—このアニメで真々子さんが立ち向かう「敵」は毒親(考え方は違えど立場は同じ母親)が多いのですが、その印象がいかがですか?
Lynn 真々子さんも一番いいお母さんとは、実は言いきれないと思うんですよ。それぞれ親子関係があるか



ら、でも真々子さんの愛によって、みんなが浄化されていく感じが基本みたいなところがある。本当に特殊なオーラを持っている人だなあと思います。
中原 確かに!真々子さんみたいな、子供に対してふんわりといてくれると、肩の力が抜けますよね。「お母さんって、そこまで頑張らなくても良いんだ。息子に甘えても良いんだ」みたいな。ああいう親子関係はステキになって私は思うんです。大人になった後、ああいう親子でいられるのは、絶対に幸せだし、そういう二人の関係は見ていてほわわわって、良いなって思います。
—真々子さんの魅力は?
中原 ちょっと天然で、毒気のないところが良いなって思います。
Lynn 真々子さんは、常に真々子さんという(笑)。とにかくマー君が大好きでいつも心配している、その意味だけ何でもする感じがして、でも、みんなも真々子さんなら大丈夫と、絶対的な安心感や信頼感を持っているんです。柔らかい雰囲気なんですけど、母としてドンドンとしっかりと芯を持っているのを感じます。
—メディから見ると真実人はどう存在だと思えます?
Lynn (しばし、思索して) 良さ仲間……?(笑) 自分を出して良いんだよ、言いたいことを言えよって、自分に投げかけてくれた人は、今まではなかったかもしれない。でもそのお陰で真実人に本音も言えたし、素素からけ出せる友達も出来たし、ですからきっと感謝はしてると思うんですけど……その毒は本当に信頼し合っているからこそ、軽口という毒を吐けるような(笑)仲間ですよ。良いパーティが出来たなって。そこはワイズやボータと変わらず、大切な友達の人だと思っています。
—この他、印象深いシーンはありますか?
中原 あ、新井里美ちゃん!(笑)彼女が演じる白瀬さんが、毎回バツと出てきてバツと面白いことをやって、見ていて、これはすごい後だなあって(笑)。
Lynn 本当に!(笑)。
中原 テストと本番で変えてきたりするんですよ!どれだけ面白いことをストックしているんだろうって、Lynn そうなんですよね!どのデイクを使うか、選ぶ方も大変だと思います。そこでも面白いですよ(笑)。
中原 そうそう!しかも「白瀬さんは、原作とは全然違う感じで面白いキャラになりました」って、井中だま先生が仰っていて、「美味しいうな!よし、私も頑張ろう!」って思いつながらやりました(笑)。
Lynn 私も白瀬さんは大好きです(笑)。私が印象深いのが、メディママの台詞で、すごく長い台詞があった。音響監督さんは「尺に収まらないと思うので」って仰った



メディママは、本当は娘が大好きなお母さんなんですよね

んですよ。中原さんはすごい早口で捲き立ててその台詞を仰って。ちょっと尺が余るくらいの勢いで収めたんです(笑)。それを見て、すごいなあと思ってました。
中原 ああ、あったね!(笑)。
—最後にメッセージをお願いします。
中原 出来れば、お母さんにも見てもらいたい作品になって思っています……。アニメとしてギャグで面白く描かれているので、若い世代から上の世代まで、どの年齢の方が観ても絶対に面白いんですけど、中でもママに観てもらいたくて、色々なタイプの「ママの形」があるんだなっていうのを、世の中のママに知ってもらえたら嬉しいなと思いがちです。多岐の力をホツと抜いて、育児をして欲しいなって思います。そしてメディママを演じて、何より会話を大事だと思っていました。親子間の会話。そこに尽きます。このアニメを観た日は、たくさん親子で喋って欲しいですよね。
Lynn 色々な親子関係がある中で、メディとメディママの関係を4話かけて丁寧に描いて頂いて、最後は無事に仲直りするところまでいって、すごく良かったなあと感じています。それから麻衣さんも仰ってましたけど、気持ちを言葉で伝え合うことが大事なんだって、すごく感じるエピソードでもありました。今後の話数は、メディはママと離れて自分の意志で、自分のやりたいことをやっていきます。そこで真実人とどういう旅をしていくのかを、ぜひ楽しみに、最後まで見守って下さい。

